



川野司令が選手を激励

第7回青野原駐屯地司令杯 少年剣道大会開かれる

去る8月2日、小野市桜台、陸上自衛隊青野原駐屯地体育館において、第7回司令杯少年剣道大会が開催された。本大会は、青野原駐屯地が主催、三木市剣道連盟主管。剣道大会を通じ、青少年育成に貢献するとともに、駐屯地周辺地域（三木、小野、加西、加東、西脇、多可、丹波、篠山の8市町）における自衛隊理解と信頼構築を目的に、毎夏休みの8月第1土曜日に開催されている。

試合は小学1・2年の部から中学生の部までの9部の個人戦。予選で3人のリーグ戦を行い、その後トーナメント戦（小6女子は、決勝も3人



選手宣誓をする橋間選手（吉川）

のリーグ戦）で優勝を争う。合計8市町16団体が参加し、選手総勢181名がエントリー。役員、保護者を含めると約350名が会場に集まった。

会場に張られ、練習する少年剣士たちの気合と打ち合う竹刀の音が体育館を震わせていた。

午前9時、吉川剣道少年団、橋間主将の号令のもと準備体操と素振りが行われた後、開会式が行われ、川野静生司令、続いて三木市剣道連盟神澤正輝会長があいさつし、集まった選手を鼓舞した。その後、吉川剣道少年団橋間主将の宣誓、教士7段松皮隆夫審判長

の注意と続き、開会式は終了。引き続き4試合場で試合が始まった。

選手たちは、夏の合宿で鍛えた技と気迫で相互にぶつかり合い、随所に好試合が展開された。三木勢では、小学1・2年で剣修会の山田選手、志染の有延選手がうれしい2位、3位に入った。同3年生では、吉川の森本選手、志染の河野選手が実力通り堂々の1位、2位。4年女子は志染の中西選手、寺口選手が2位、3位と健闘したものの、両者とも、優勝した北条の三田井選手のパワーの前に屈した。5年生男子は、三木中央加村選手が準優勝したが、決勝では延長に及ぶ接戦で、優勝した柳心館田代選手の一瞬の気迫と隙をつく見事な面の前に惜敗した。圧巻だったのは、小学校6年男子の部。1・3位までを三木勢が独占、吉川の橋間選手、緑が丘の村岡選手、志染の大前選手の3人はいずれも劣らぬ実力者で、今後楽しみも存在だ。また同6年女子の部でも吉川の山田選手が優勝するなど、これからの活躍が大いに期待できる。

（報告 澤田 薫）

入賞者は以下のとおり。

- 【小1・2年】①田代華夢（柳心館）②山田慧士（三木剣修会）③有延俊稀（志染）
 - 【小3年】①森本隆文（吉川）②河野誠亮（志染）③飯原大和（柳心館）
 - 【小4年】①三田井麻梨愛（北条剣修会）②寺口ひかる（志染）③中西涼風（志染）
 - 【小5年男】①田代勝夢（柳心館）②加村蓮（三木中央）③飯田日向（柳心館）
 - 【小5年女】①藤原あかり（西脇）②松原明季（柳心館）③原彩乃（加西）
 - 【小6年男】①橋間祐仁（吉川）②村岡弘規（緑が丘）③大前吏央（志染）
 - 【小6年女】①山田真美（吉川）②岩崎千郷（北条）③櫻井愛莉（北条）
 - 【中学生男】①善甫隆博（社）②千石岳司（加西）③桂俊道（社）
 - 【中学生女】①井上七海（社）②山田菜々恵（柳心館）③須藤佳々美（北条）
- （赤字は三木市の選手）